

NASAの「月の石」再び北九州市へ！！

スペースワールドで常設展示（開園1990年から）されていた「月の石」は、昨年12月の閉園に伴い、米航空宇宙局（NASA）に返却されていました。

「月の石」は国内では、国立科学博物館（東京・上野）と本市の2ヶ所でしか展示されていない希少なもので、北九州市民をはじめ多くの観光客や修学旅行客からもスペースワールドの閉園とともに惜しまれていました。

本市は、スペースワールド閉園後も、子どもたちの宇宙への夢やあこがれのシンボルとして、再び展示できるようNASAと調整を続けてきたところ、この度、「月の石」の貸与について、了解をいただきました。

今後、展示スペースの整備やセキュリティ対策を行い、年内を目途に展示・公開する予定です。

1. 月の石の概要

重量：176.4g

採取年月：1969年11月

採取チーム：アポロ12号

採取場所：「嵐の海」

その他：国立科学博物館展示の月の石よりも大きく、国内最大



2. 展示場所 北九州市立いのちのたび博物館（予定）
（東田地区に移転を予定している児童文化科学館のオープンまで）